

会 議 議 事 録

事業名	令和4年度 第1回 教育課程編成委員会
学校名	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校

会 議 名	教育課程編成委員会会議（第1回）
開 催 日 時	令和4年8月25日（木） 16:00 ～ 18:00
会 場	新潟デザイン専門学校（新潟市中央区長潟2-1-4）オンライン開催
出席者	新保 悟（ジャムルクルー株式会社） 白井 剛暁（DESIGN DESIGN 代表） 渡辺 淳一郎（株式会社アイディ・東和） 浅野 勝利（株式会社T00） 落合 剛之（株式会社TAMBO 代表取締役） 関本 大輔（株式会社アドハウスパブリック）※代理：島田 光宏 伊藤 真一（アイプラス） 竹田 一紀（作家） 加藤 一人（新潟デザイン専門学校 校長） 畑野 裕美（新潟デザイン専門学校 副校長/教務部長） 永井 啓司（就職相談室室長／雑貨・ジュエリーデザイン科 学科長） 加納 洋太（デジタルデザイン科 学科長） 田中 圭（グラフィックデザイン科 学科長） 宝福 大志（キャラクターイラストデザイン科/イラストレーション科/美術・工芸デザイン科 学科長） 羽田 裕之（写真デザイン科 学科長） （出席者 15 名）
欠席者	澁谷 敏（シブヤカメラ） 田中 圭（グラフィックデザイン科 学科長） 宮城 庄吾（新潟デザイン専門学校 事務局長） （欠席者 3 名）
会議内容	（1）学校長挨拶 学校長加藤より職業実践専門課程について及び教育課程編成委員会設置についての趣旨説明・役割の重要性についてなどを話し、開会挨拶とした。 （2）本日の出席者紹介 副校長畑野より委員及び本校委員が紹介された。 （3）本校の現状報告 副校長畑野より学校方針/教育目標/教育実績/運営報告等の説明がされた。 （4）コンペ前年度との比較、企業プロジェクト、進路決定、イベントについて 副校長畑野より全校の報告を行った。
	（5）本校カリキュラム・教育実績報告（コンテスト入賞・進路決定報告・産学連携報告など）について各学科から前年度実績報告と現状報告がされた。

	① グラフィックデザイン科 (田中学科長) ② 写真デザイン科 (羽田学科長) ③ イラストレーション科 (宝福学科長) ④ キャラクターイラストデザイン科 (宝福学科長) ⑤ 美術・工芸デザイン科 (宝福学科長) ⑥ 雑貨・ジュエリーデザイン科 (永井学科長) ⑦ デジタルデザイン科 (加納学科長) (6) 質疑応答・意見 ① グラフィックデザイン科 新保：インスタグラムなどの SNS に特化したコンテストなどがあれば、積極的に開拓、チャレンジしてみてもどうか。 田中：グラフィックの分野に限らず幅広いジャンルで積極的なコンペ参加を促している。応募や参加することの意義を指導し、実績に繋がるようフォローしていく。 ② 写真デザイン科 高田：SNS 用広告写真の企業連携報告を受け、写真が使用される広告媒体も急加速度的に変化していることを感じた。企業側に対して提案を積極的に行っていくとよい。 羽田：学科としても SNS には今後も力を入れていきたいツールだと感じている。そのやめにも、カメラの基礎や構図など、リアルな授業科目の充実も図っていく。 ③ イラストレーション科 竹田：デジタル表現を好みとする学生が増えているからこそ、表現における基本のデッサンやクロッキーなど、アナログな部分の指導を大事にしてほしい。 ④ キャラクターイラストデザイン科 浅野：企業連携の報告から学生自体の持つ潜在的な表現能力に驚いた。他学科で意見が出たように、発信にも SNS を積極的に活用し、PR の更なる充実を図るとよい。 ⑤ 美術・工芸デザイン科 白井：NFT アートなど、新しいプラットフォームもこれからは無視できない。アートの分野も SNS を活用した発信の仕方を授業に取り組んでいくと良いのではないかな。 宝福：SNS 活用については職員も知識を学ぶ必要がある。外部研修など積極的に活用しながら、学生指導において還元できるよう学びを深めていきたい。 ⑥ 雑貨・ジュエリーデザイン科 齋藤：提供したデザインが製品化され、海外でも販売されている実績はとても貴重。コロナ禍だからこそグローバルな視点を大切にして、学科の強みとして取り組みを強化してほしい。 永井：学生たちにも連携の規模感をしっかりと伝え、世界的に活躍できる人材育成を目指して指導していきたい。 ⑦ デジタルデザイン科 加納：産学連携など実践的な授業を充実させ、業界就職を意識したスキルと人間力の育成指導を引き続き行っていきたい。 ※その他 (7) 次年度の委員会及び次回委員会開催日程(3 月中を予定)に関して委員の都合を再確認し連絡する事になった。
--	---

事業名	令和4年度 第2回 教育課程編成委員会
学校名	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校

会 議 名	教育課程編成委員会会議（第2回）
開 催 日 時	令和5年3月16日（木） 16:00 ～ 18:00 (注)新型コロナウイルスの対策として短時間での開催とする
会 場	新潟デザイン専門学校（新潟市中央区長潟2-1-4）オンライン開催
出席者	新保 悟（ジャムルクルー株式会社） 白井 剛暁（DESIGN DESIGN 代表） 渡辺 淳一郎（株式会社アイディ・東和） 浅野 勝利（株式会社T00） 落合 剛之（株式会社TAMBO 代表取締役） 澁谷 敏（シブヤカメラ） 関本 大輔（株式会社アドハウスパブリック）※代理：島田 光宏 伊藤 真一（アイプラス） 竹田 一紀（作家） 加藤 一人（新潟デザイン専門学校 校長） 畑野 裕美（新潟デザイン専門学校 副校長/教務部長） 永井 啓司（就職相談室室長／雑貨・ジュエリーデザイン科 学科長） 笠原 雅人（グラフィックデザイン科 学科長代理） 宝福 大志（キャラクターイラストデザイン科/イラストレーション科/美術・工芸デザイン科 学科長） 羽田 裕之（写真デザイン科 学科長） 宮城 庄吾（新潟デザイン専門学校 事務局長） （出席者 15 名）
欠席者	田中 圭（グラフィックデザイン科 学科長） 加納 洋太（デジタルデザイン科 学科長） （欠席者 2 名）
会議内容	（1）学校長挨拶 学校長加藤より職業実践専門課程について及び教育課程編成委員会設置についての趣旨説明・役割の重要性についてなどを話し、開会挨拶とした。 （2）本日の出席者紹介 学校長加藤より新規委員及び本校委員が紹介された。 （3）本校の現状報告 副校長畑野より学校方針/教育目標/教育実績/運営報告等の説明がされた。 （4）コンペ前年度との比較、企業プロジェクト、進路決定について 副校長畑野より全校の報告を行った。

	(5) 本校カリキュラム・教育実績報告（コンテスト入賞・進路決定報告・産学連携報告など）について各学科から前年度実績報告と現状報告がされた。 ① グラフィックデザイン科（笠原学科長代理） ② 雑貨・ジュエリーデザイン科（永井学科長） ③ 写真デザイン科（羽田学科長） ④ イラストレーション科（宝福学科長） ⑤ キャラクターイラストデザイン科（宝福学科長） ⑥ 美術・工芸デザイン科（宝福学科長） ⑦ デジタルデザイン科（加納学科長） (6) 質疑応答・意見 ① グラフィックデザイン科 笠原：得意・不得意が学生によってあるかと思うが、就職を意識して内容の習得を目指すように、検定科目について検定の目的やその成果を学生に説明し、目標設定を行うように指導をした。 ② 雑貨・ジュエリーデザイン科 落合：産学連携にも力を入れていることが海外でのデザイン採用の報告で伝わってきた。学生の強みへつながるような工夫をしてほしい。 ③ 写真デザイン科 澁谷：幅の広い撮影手法を全員が学んでおり、撮れないシーンがないという学生もいると聞いた。将来的に面白い人材になってくれると感じる。 ④ イラストレーション科 渡辺：業界での就職活動時にはポートフォリオの充実がとても重要。作品の入れ方やまとめ方を工夫できるように指導を入れてほしい。 ⑤ キャラクターイラストデザイン科 宝福：前年度の意見の反映状況について報告。産学連携について、企業からの講師依頼を行い、授業を実施している。 ⑥ 美術・工芸デザイン科 浅野：コンテストや作品展への出展を積極的に行い、作品展示の仕方なども授業の一環として取り入れてみてはどうか。 ⑦ デジタルデザイン科 永井：前年度の意見の反映状況について報告。Web コンテンツやデザインの授業を見直し、企業からの講師依頼を行い、授業を実施している。 ※その他、全学科共通 ・スクールカウンセリングの引き続き設置 ・前年度に続き、奨学金についての学費相談件数が増えている。 他 (7) 次年度の委員会及び次回委員会開催日程(8月中を予定)に関して委員の都合を再確認し連絡する事になった。
--	---

以上